

- 環境未来都市を目指し、「次世代郊外まちづくり」を進めます -

都市計画などで世界的に有名なクリチバ市(ブラジル)から専門家を招き、  
「フューチャーシティフォーラム～人にやさしいスマートシティとは～」  
を開催します！

## 趣 旨

環境未来都市の推進のため、横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、昨年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）をモデル地区として「次世代郊外まちづくり」に取り組んでいます。

今般、横浜市と東急電鉄は、「次世代郊外まちづくり」の一環として、都市計画や環境施策など「ヒューマンスケールのまちづくり」で世界的に有名なブラジル クリチバ市から専門家を招き、**クリチバ市と横浜市の先進的事例やまちづくりを語り合う「フューチャーシティフォーラム」**を開催します。

市民生活に根差したまちづくりの先進事例や住民参加型まちづくりについて意見交換を行い、クリチバ市のまちづくりと「次世代郊外まちづくり」の今後の展開に生かしていきます。

## 概要

### 「フューチャーシティフォーラム～人にやさしいスマートシティとは～」

開催日時 平成25年8月23日（金）18時30分～20時（開場18時）

会 場 たまプラーザテラス プラーザホール by iTSCOM（たまプラーザ駅直結）  
（所在地：横浜市青葉区美しが丘1-1-2）

定 員 200名（入場無料。申込不要、先着順）

主な内容 まちづくりトーク「ブラジル クリチバ市におけるまちづくりの取組」  
ルイス・ブラガ（クリチバ都市計画研究所（IPPUC）総裁アドバイザー）

パネルディスカッション「人にやさしいスマートシティとは」

コーディネーター：中村文彦（横浜国立大学大学院教授）

パネリスト：ルイス・ブラガ

信時正人（横浜市温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事）

東浦亮典（東急電鉄都市開発事業本部統括部長）

一部内容はポルトガル語によるものになります（日本語の逐次通訳あり）。

主 体 主催：横浜市、東急電鉄

協力：独立行政法人国際協力機構（JICA）

目 的 クリチバ市の先進事例を「次世代郊外まちづくり」のモデル地区にお住まいの方をはじめとする人々と共有するとともに、これまで「次世代郊外まちづくり」で続けてきた住民参加型のまちづくりについて情報を共有することで、クリチバ市と横浜市の今後のまちづくりにつなげる。

なお、本フォーラムは独立行政法人国際協力機構（JICA）が主催する「ブラジル国クリチバ市における土地区画整理事業実施能力強化プロジェクト」本邦研修の一環として開催します。

## 案内図・位置図



## 参 考

### クリチバ市

ブラジル南部に位置する、国際的に知られた環境都市。2009年には、世界銀行から「環境に配慮しつつ経済成長をしている都市」として、横浜市とともに「eco2 cities」に選定されました。日系人が多く居住し（約4.5万人）、市内には日本庭園もあります。横浜市には今年5月にクリチバ市のグスターボ・フルエチ市長が表敬訪問されました。また「カズ」こと三浦和良、マルキーニョスなど現在横浜市内でプレーするサッカー選手がかつて在籍するなど、横浜ともゆかりのある都市です。



BRT停留所  
(バス高速輸送システム)

### 環境未来都市

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家戦略プロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。

・横浜市関連 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>



### 次世代郊外まちづくり

「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく従来にない参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」実現に向けた「環境未来都市推進プロジェクト」のひとつである「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」として位置付けられています。

・次世代郊外まちづくり URL <http://jisedaikogai.jp/>